

カトリック六甲教会 教会報

2006

11
No.419

11月の予定

		教会暦	教会行事
1	水	諸聖人(祭日)	7:00 10:00 ミサ
2	木	死者の日	7:00 10:00 ミサ 10時ミサ後墓参
3	金		初金 7:00 10:00 ミサ
4	土	聖カロロ・ボロメオ司教	
5	日	年間第31主日	
9	木	ラテラン教会の献堂	
10	金	聖レオー一世教皇教会博士	
11	土	聖マルチノ(ツール)司教	
12	日	年間第32主日	七五三の祝福 (11時ミサで)
16	木		14:00 ベタニアの集い
17	金	聖エリザベト(ハンガリー)修道女	
18	土		17:00 19:00 主日ミサ(バザー準備のため)
19	日	年間第33主日 聖書週間(26日まで)	10:30 チャリティーバザー (11時ミサはありません)
20	月		14:00 三日月会 ミサと例会
21	火	聖マリアの奉獻	
22	水	聖セシリアおとめ殉教者	
24	金	聖アンデレ・ジュン・ラク司祭と同志殉教者	
25	土		14:30 教会学校ホールミサ 10:30 哲学入門(奥村和滋教授)ガビエルハウスにて
26	日	王であるキリスト(祭日)	
27	月		11:00 ベビーとママの集い
30	木	聖アンデレ使徒	

より豊かな人生を送るために

誰しも人の死は悲しいものです。また誰しも自分の死は恐ろしいものです。

愛する人を亡くして悲しむこと、寂しがること、自分の死を想像して、あるいは自分の死に直面して、恐ろしくなること、不安でたまらなくなること、これは

人間の自然な思いであり、人間らしさの表れです。

どうして私たちにとって死は悲しく、つらく、怖いものなのでしょう？

それは私たちが死を個々の人生と切り離して考えてしまうからではないでしょ

うか。

死は自分が生きている“今”と別の次元のものではありません。死は私たちの日常の延長線上にあるのです。生まれては死に、生まれては死に、祖先から子孫へ、世代から世代へ脈々と受け継がれる命の流れの中に、私たちはいるのです。一人の人間の死は、長い長い人類の命の繋がりの中のひとつの過程です。

キリストの死と復活で始まる私たちの信仰は、死を否定的にとらえるのではなく、積極的にみるものです。私たちは神さまのところから来て、神さまのところへ戻るのです。死を通らなければ、神さまのもとへ帰ることはできません。私たちキリスト者にとって死はまさに、神さ

まのもとへ帰るステップに過ぎません。

結婚や出産など、数々の人生の喜びの場面には、十分に用意して備える私たちが、必ずやって来る死の準備をしないていることは不思議なことです。それはきっと、死はある時突然やって来るから備えようがないと考えるからでしょう。しかし誰しも、1日が終われば、1日死に近づくのです。死という出来事を生活の一部として受け入れ、自分の死を迎える準備、愛する人の死を見送る準備をすることができれば、より豊かな人生を送ることができると思います。

God bless you.

祈りのうちに

バレンタイン・デ・スーザ S.J.

各 部 会 だ よ り

👉 壮年会

黙想会

11月26日(日) 13:30~16:00 於:ザビエルハウス
終了後、親睦会を遊覧船コンチェルト(出航17:30、
帰港19:15)にて行います。黙想会出席者およびそ
の家族30人まで。教会からマイクロバスでハーバ
ーランドへ。

参加費用: 壮年会会員3,000円、家族4,000円
(当日徴収)

申込書を聖堂入り口に置きます。

男の料理教室

11月15日(水) 午前10時

👉 婦人会

1 バザーの担当地区が決まりました。

のみの市・・・西2・東5・中5
おでん・・・東1・東2・東3
カレー・・・西5・中1・中2
洗い場・・・西3・西4
ちらし寿司・売り場・・・中3・中4・東4
お茶・・・西1
よろしくお願い致します。

2 食券

おでん・カレー・ちらし寿司の食券を5日までの各ミサ後販売します。

3 12月の予定

1日 初金ミサ後例会

8日 10時ミサ後黙想会

詳しくはチラシがで次第ご覧下さい。

4 11月の聖堂掃除当番

3日(金) 西5・東1

10日(金) 東2・3

17日(金) 東4・5

24日(金) 西1・2

いずれも午前9時からです。

👉 三日月会

<例会>

11/20(月) 14:00~ ミサ

その後、奉仕職実務体験解説(Sr.出口)、
ビデオ鑑賞

👉青年会

<定例会>

11 / 12 (日) 12 : 30 ~ 14 : 00 第3会議室

聖書を読んで分かち合い

チャリティーバザーの準備

11 / 26 (日) 12 : 30 ~ 14 : 00 第3会議室

「みんなで担う信徒奉仕職」を読んで分かち合い

*初めての方もお気軽にご参加下さい!

👉行事部

11月19日(日)チャリティーバザー

壮年会・船井さんを実行委員長に向かえ、10月1日(日)・22日(日)と第一回・第二回実行委員会を開きました。例年通りのバザー形式になると思いますが、チャリティーの意義を再確認し、皆様の支援・協力のもとに盛大な催しになればと考えております。古本や蚤の市の商品の寄付や前日や当日の準備・片付け、お店のお手伝いなど皆様のご協力をお願い致します。

ご家族、親類、ご近所のお友達などお誘いの上、多数のお越しをお待ちしております。

👉施設管理部

掃除御礼

10月7日の教会大掃除には、約50名のご協力をいただきありがとうございました。夜来の雨も、幸い早朝には上がりました(感謝)。平素手のいき届かない処、隅々まで自主的に、積極的に掃除下さり、気持ちよくなりました。次回もよろしくお祈いします。

大掃除についてお気付きの点ありましたら申し出の程お願い致します。(飯塚晃)

👉社会活動部

11月3日(金)

社会活動部連絡会 今月はお休みです。

今月はバザーに伴い、会合が多くなりますのでお休みとさせていただきます。

12月1日(金) 13:00~ **社会活動部連絡会**

於：第2会議室

(初金ミサおよび婦人会例会後)

バザーの反省会他討議事項が沢山ありますので、関係の方は必ずご出席を御願ひ致します。

<お 知 ら せ>

このコーナーでは所属部会の枠を超えて、みなさまに広くお知らせしたい事項を掲載しています。教会の掲示板にも同様のお知らせが多数ありますので、あわせてお読みください。

【典礼部より】

11月から、主日の9時と11時の御ミサにおいて、聖体奉仕者の方にホスチアを奉納していただき、朗読の方に献金の奉納をお願いすることになりました。

【婦人会より】

バザーのみの市の品物

11 / 19のチャリティーバザーの品物(日用費・食料品・衣類など)を持ってきて下さい。

期間：10 / 22 (日) ~ 11 / 5 (日)

どれも未使用、新品に限ります。(特に食料品は賞味期限が充分なものに限ります)

【社会活動部より】

11月1日(水)11:00~(諸聖人のミサ後)手芸の集い

バザーに向けての最後の集いです。何方でもご参加頂けますので、手作りのお好きな方、ご出席下さい。

11月11日(土)10:00~ 炊き出し

久し振りの担当日です。教会台所で準備し、用意の出来次第、小野浜公園に移動致します。多くの方のご協力を、宜しく御願い致します。

11月12日(日)10:00~ 手作りコーナー 於：イグナチオホール

いつもは第3日曜日ですが、今月はバザーと重なる為に、第2日曜の12日に変更させて頂きます。毎回好評の手作り弁当ほか食品、小物などを販売致します。是非お立ち寄りの上、お買い求め下さい。ご協力を御願い致します。

11月16日(木) 14:00~ ベタニアの集い

今年最後の集いとなります。今回は例月の“聖体拝領式と懇親”の他に、“病者の祈りと塗油”を与えて下さいます。追ってご案内させて頂きます。ご参加をお待ちしております。

11月24日(金)14:00~ 御握り作り 於：教会台所

須磨方面夜回り支援の為に作ります。ご協力を御願い致します。

【養成部より】

哲学入門講座 第3回 11月25日 10:30~12:00

講師：英知大学教授 奥村和滋先生

テーマ：関係の哲学 ~愛とうらみの人間論~

受講料：一般 1,000円、学生 300円

場所：ザビエルハウス

養成部有志が共同企画に加わったプログラムで、激しく移ろう世の中であって私たちは如何に生きていくべきなのか、哲学の視点で学んでいければと考えています。

以降、1月27日を予定しています。

祈りの道場 12月2日(土)

指導：英隆 一朗神父様

受付よりお知らせ

ラミネーター(写真参照)を購入しました。

サイズはB5からA3まで可能です。

使用料金はサイズに関係なく1枚につき50円です。

必要な方は受付までお申し出下さい。



直島キャンプ

神戸中央教会と住吉教会の方から誘いがあり、六甲教会を併せた3教会の青年会が合同でキャンプに行くことになり、参加させてもらいました。行き先は岡山県倉敷と香川県直島で、9月15～17日と週末3日間を生かしたプランの宿泊先は倉敷カトリック教会。参加者は、男子5名、女子2名、神父様とシスターの合わせて9名でした。

旅の目的のひとつは、直島にある安藤忠雄と現代の建築家達の作品の見学。ガラスの階段の「護王神社」、真っ暗な空間の「南寺」、現代版ピラミッドの「地中美術館」などを回りました。アートの力とは素晴らしいものです。瀬戸内の小島に作られたこのアート群は、間違いなく現代の世界の最高峰をいくものです。

今回、僕はキャンプで次のことを望んでいました。一つは、神戸の3教会の兄弟姉妹と共に過ごし、一緒に何かをすること。もう一つは、倉敷や遠くの兄弟姉妹と交流すること。僕は六甲教会の代表として、無事役目を果たそうと心を決めていました。知らない人同士で、思ったこととか要件とか何度か言いそびれました。誤解や行き違いもあったと思います。そんな時、《ユーモアが大切だ!》《日本人だから、頓智を使わねば!》《少年少女の時の心を忘れてはいけない!》と気付きました。同行者たちも皆、勇猛果敢に「何か」を探そうと一生懸命なように見えました。そんな姿を見ると、僕も頑張らなければと思うのでした。未知の世界に投げ込まれた時、それは「真っ暗な静寂の空間」にいるのに似ています。左手で壁をつたいながら、恐る恐るすり足で歩いた「南寺」の体験を生かしました。何回か誰かにぶつかった時、「ご免なさい」「いいえ」ととっさに口をついて言葉を交わしました。

キャンプで楽しかったことは、二晩、男同士と一緒に広い風呂に入り、仲良く布団を並べて眠ったこと。シスターと女の子が毎回おいしい食事を作ってくれて、みんなと一緒に食事できたこと。それぞれ自分の好きなアルコールを何杯か飲んだこと。そして……。

最終日、倉敷見物をして帰途につきました。いろんな土産物がありましたが、中でも珍しい「招き猫」が心に残りました。とっても愛想がよく、華奢な体つきの置き物から「ゴロニャン」と満悦の泣き声が聞こえてきそうでした。それはあたかも一緒に旅行した仲間達のようにもありました。みんながよく準備をしてくれて、みんなが祈って下さったお蔭で、僕達は無事旅行から帰って来ました。これからも神戸の隣人と、そして遠くの隣人との「架け橋」になりたいです。「また来年もやろう」と約束をして家路につきました。

(今村大堂)

「哲学入門」

英知大学教授・奥村和滋先生を講師に迎え、9月23日、ザビエルハウスで第1回「哲学入門」講座が開講しました。

わたしたちは日頃、考えたり話したりする上で世の中の「真理」を土台として思考を組み立てます。ところがこの「真理」の中に、実は正しくないことが少なからず含まれているのです。

講義のはじめに「99・9%は仮説」というちょっとショッキングなタイトルの新書が紹介されました。哲学とは、この残り0・1%の真実を追い求め、掘りよめようと思案する学問で、あらゆる学問の始まりとも言われています。最近話題になった「冥王星騒動」を引き合いに、私たちが中学・高校で「真実」として教わったことの中にも「誤り」のあることを学びました。

講座の第1回は「道徳の哲学～悪のありかをめぐって～」というタイトルでした。まず、「悪」に対立する概念として「よい」ということの意義が徹底的に検討されました。そして、その中で「善」だけ

が私たちの幸福に直結しないという意味において異質であり、私利・私欲から離れて存在する絶対的存在であることを学びました。しかし、善はそれ自体が目的であり、そのことには幾つかの問題を伴います。

善が幸福に結び付かないため、「正直者が馬鹿を見る」不条理が往々にして生じます。逆に「善＝幸福」という仮説からは「不幸な人間は何か悪いことをしている」という結論が導き出されます。ヨブ記エリファズの言葉「考えてみなさい。罪のない人が滅ぼされ、正しい人が絶たれたことがあるかどうか」が示すように、弱者に対して思いやりのない言葉しか出てこないのです。

A 幸福が道徳性を導いてくれないので、自分で考えなければなりません。考えることは迷いも多く、苦痛です。

B 全く自由のない所に善悪は発生せず、善の実現には自由が不可欠です。しかし、自由はとかく悪に流れがちで責任や苦しみを伴い、「重荷」でもあります。

C 道徳の実現には他者への思いやり、愛が不可欠ですが、愛はとかく人を区別するほか、変節や苦しみを伴います。

このように「善の実現困難」を通じて「悪のありか」を考えた1時間半でした。非常に重いテーマでしたが、講堂には笑いが絶えず、あっと言う間に過ぎ去りました。

堅苦しいイメージから、10名前後の出席を予想していましたが、実際には24名もの方が参加され、開講前には「5回もあるんかいな」と言っていた方が、終ってみれば「5回しかないんかいな」という言葉に変わっていました。

第3回は11月25日です。途中からの聴講でも十分に堪能できる講義ですので、皆さん奮ってご参加ください。

壮年会例会

10月15日(日)に壮年会の例会が開かれました。この日は「典礼と信徒奉仕職」について藤原泰さんのお話を聴き、いわゆる教会の位階システムを超えた奉仕職(預言職、祭司職、王職)が信徒それぞれにも役割として与えられていることを学びました。そして「祈ってもらうのではなく、ともに祈ろう」が大切である、と結論づけられました。あとで質疑応答に入り、信徒として典礼にかかわる奉仕とはどのようなものがあるのか、また典礼祭儀に携わる信徒は、基本的な認識を欠かさず、じゅうぶんな研鑽が必要であることも確認しました。

つぎに、壮年会の今後のスケジュールが報告され、11月の黙想会、チャリティーバザー協力のお願いなどについての話がありました。さらに壮年会の役員任期について現在の1月～12月から4月～3月に変更することの提案が行われ承認をえました。総会は従来どおり1月に行い次期の人事を決めておいて、新役員は4月から就任というかたちに致します。

男の料理教室

10月の「男の料理教室」は定例日の第3水曜日・18日に開かれました。この日ははるばる東京からカトリック新聞が取材に来られました。いよいよ「男の料理教室」も全国区になったということでしょうか。きょう実習するのはヌードルのチキントマトソース、季節のサラダ、ワインゼリーといつもながら豊富な献立です。とくにヌードルは手打ちにチャレンジ。粉を練ることから始め、ねかせて打ち粉をして麺棒でのばし、細く切って茹でるという作業を念入りに行いました。サラダとデザートワインゼリーも揃ったところでお客様ご招待。神父さまたちはオ・ルスター



の4人、ゲストの方とカトリック新聞の記者さんも入って、にぎやかな昼食会となりました。カトリック新聞の記者・大元さんはこのような活発な教会活動が行われているとは驚きですと感嘆の声を上げていました。さてカトリック新聞にはどのように紹介されるのでしょうか。楽しみです。



図書紹介

「聖書 その歴史的事実」

新井智著
NHK ブックス

わたしは、定年後の生活に憧れを持っていました。好きなスポーツに、気ままな旅行、気になっているのに一向に出来ない聖書の勉強、などが自由に出来ると思っていたからです。そんなある日書店の立ち読みでのぞいた本がこれでした。聖書を概括的に理解するにはよい本だと思いますのでお勧めします。ただ本の批評をするほど知識のない私ですから、著者の言葉を紹介してお勧めの理由にしたいと思います。

聖書、これは不可解な本である。書かれて2千年もたつ古い書物であるのに、毎年世界的にベストセラーをつづけているという。

何なに、そんなに面白いのか？

実は、「神のなせるわざ」と信じて書いた人間の、その信じ方を問題としなければならないのだ。

なんじゃ信仰の書か？信じ方？

しかし、事実には、「歴史的事実」と「信仰的事実」がある。

ふむふむ。

歴史的事実、その起源や内容や発達を知らなければ、その意味を探ることは出来ない。そこから次の「信仰的事実」が生まれてくる。

ナットク！

ところでこの本の発行は、なんと昭和51年第1版。30年前なのに歴史的事実と登場人物のへんてこな名前が一向に覚えられない私の推薦です。

(藤原泰)

~~~~~

## 死者の日に

今年も諸聖人の祝日に続いて死者の日を迎えます。わたしたちはいつも自分には明日があると信じて疑わないようです。しかし、突然の神様の呼び出しに備えておくのは地震への備えより大事だと思います。それで教会ではイグナチオホールに「葬儀ご案内」のパンフレットを置いてあります。一度は是非目を通して置かれるようお勧めいたします。

教会はご遺族の心を何より大切に考えます。ご家庭にはそれぞれご事情があり、高齢化社会が進むにつれてお身内だけでひっそりと葬儀を済ませたいと希望なさるケースが増えてきました。また、教会と生前ご縁の薄かった方の葬儀も増えてきました。中には、故あって教会外で葬儀を済ませた後にご連絡をいただく場合もあります。葬儀や通夜のオルガン奉仕、聖歌奉仕はご遺族の慰めと希望を与える大切な信徒奉仕職です。また婦人会特に役員の方々は毎回のように入堂入口での受付に奉仕して下さいます。

葬儀の聖歌奉仕者には通夜や葬儀のたびに連絡させていただいていますが、ご遺族の意向によっては婦人会の連絡も地区会の連絡もしないことがあります。教会報で後日知ったというようなことが増えるかもしれません。「義理が悪い」とか「何故知らせなかったか」とかではなく、ぜひ故人とご家族に思いを馳せお祈りいただきたいと思ひます。 (教会受付)

~~~~~



11月19日 10:30 ~ 14:30

テーマ： For You ~手を取りあって~

<会場設営お手伝いのお願い>

下記準備のお手伝い、特に若い方々のご協力よろしくお願い致します。

前日11月18日(土)13:00~テント張り、机並べなど。

当日11月19日(日) 8:00~椅子並べなど。

会場設営のため、11月18日(土)、19日(日)は、**終日駐車禁止**となります。

<主日のミサについて>

前日 11月18日(土)17:00~ / 19:00~

当日 11月19日(日) 7:00~ / 9:00~

当日 11月19日(日)11:00のミサはありません。

<p>教会報月12月号の発行は、12月3日(日)です。 編集会議は11月26日(日)です。 記事原稿は、11月19日(日)正午までに信徒会館事務室へご提出願ひます。(広報部) http://www.rokko-catholic.jp</p>	<p>カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 話 0 7 8 - 8 5 1 - 2 8 4 6 発行責任者 桜 井 彦 孝 神 父 編 集 広 報 部</p>
--	---